



## グローバルEV関連株ファンド （為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）愛称：EV革命



### 第8期決算および分配金のお支払いについて

平素より「グローバルEV関連株ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）愛称：EV革命」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2022年1月24日に第8期決算を迎えましたので、マザーファンドを実質的に運用しているロベコ・スイス・エージーからの情報を基に、運用状況や運用方針等をご報告申し上げます。

#### 分配実績（1万口当たり、税引前）

第8期の分配金については、分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案し、（為替ヘッジあり）、（為替ヘッジなし）ともに分配金のお支払いを見送ることとしました。2022年1月24日現在の基準価額は（為替ヘッジあり）15,066円、（為替ヘッジなし）15,554円となりました。

決算期		第1～5期	第6期	第7期	第8期	設定来累計 2022/1/24まで
		累計	2021年1月	2021年7月	2022年1月	
（為替ヘッジあり）	分配金 （対前期末基準価額比率）	0円 (0.0%)	1,000円 (9.9%)	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)	1,000円 (10.0%)
	騰落率 （税引前分配金再投資ベース）	0.6%	75.7%	-8.5%	-1.2%	59.7%
（為替ヘッジなし）	分配金 （対前期末基準価額比率）	0円 (0.0%)	1,000円 (10.2%)	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)	1,000円 (10.0%)
	騰落率 （税引前分配金再投資ベース）	-2.4%	74.9%	-3.9%	0.7%	65.2%

（注1）「対前期末基準価額比率」は、各期の分配金（税引前）の前期末基準価額（分配金お支払い後）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。第1～5期と設定来累計の欄は、それぞれの分配金累計（税引前）の設定時10,000円に対する比率です。

（注2）「騰落率」は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。第1～5期の欄は、設定日から第5期末までの騰落率です。

#### 分配方針

- 年2回（原則として毎年1月および7月の23日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。
- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



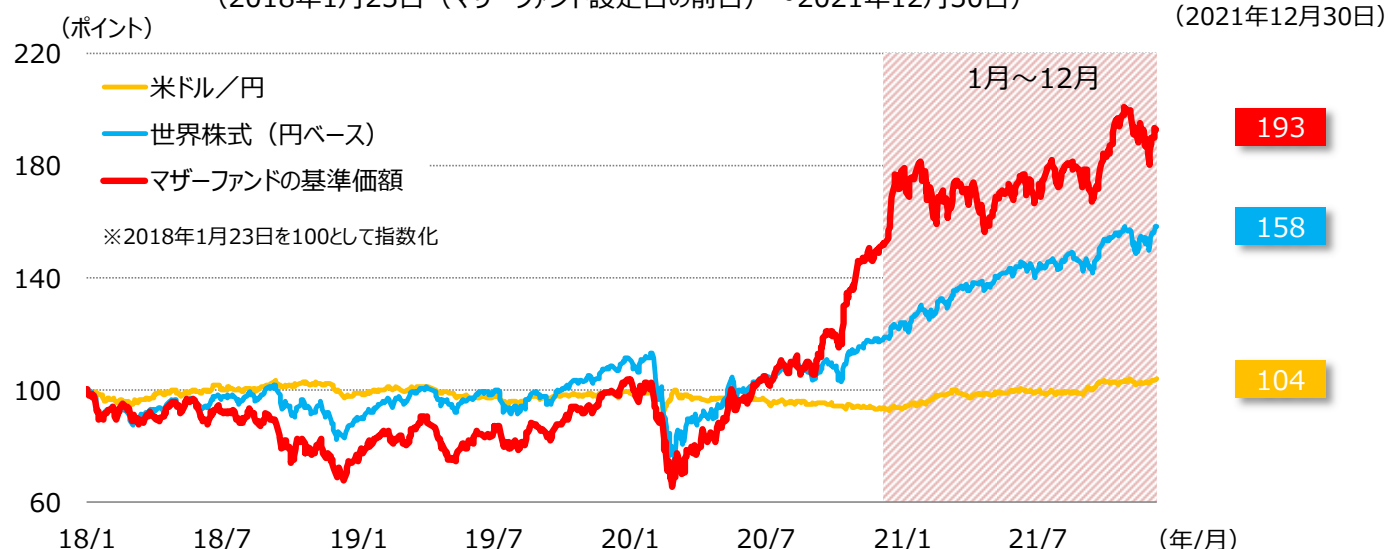
（写真はイメージ）

## 2021年の振り返り（2021年1月～12月）：世界株式を下回るが大幅に上昇

- 2021年の世界の株式市場は大幅に上昇しました。インフレ率の上昇とその後の高止まり、量的緩和縮小の前倒しを始めとする米金融政策への不透明感、中国での大手インターネットや教育関連企業等への規制強化や大手不動産会社の債務不履行懸念、新型コロナウイルスの新たな変異株の出現による景気悪化懸念などから株価が調整する局面もみられましたが、**ワクチン接種の進展による経済活動の正常化や好調な企業業績を背景**に、年間を通して上昇基調が続きました。
- マザーファンドでは、米国、欧州の保有銘柄が大きく上昇し貢献しました。株式市場の上昇をけん引した**米国の半導体、リチウム関連銘柄、欧州のEVインフラ関連銘柄、年央以降反発した中国のEV完成車メーカー**などがリターンにプラス貢献しました。ただし、アジアの地政学リスクや政治の動きに左右された**韓国や日本が出遅れた**ことなどもあり、世界株式を下回りました。

## ＜マザーファンド、世界株式、米ドル／円の推移＞

(2018年1月23日（マザーファンド設定日の前日）～2021年12月30日）



## ＜マザーファンドの期間別騰落率（％）＞

## ＜世界株式の期間別騰落率（％）＞



(注1) マザーファンドは「グローバルEV関連株マザーファンド」。マザーファンドの推移は1万口当たり基準価額を指数化。マザーファンドに信託報酬はかかりません。（当ファンドは年1.793%（税抜き1.63%）の信託報酬がかかります。）

(注2) 世界株式はMSCI AC ワールドインデックス（配当込み、円ベース）。同インデックスはマザーファンドおよび当ファンドのベンチマークではありません。

(注3) 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

(注4) マザーファンドの基準価額算出時の外貨建て資産の評価額は、基準価額算出日前日の株価と基準価額算出日の為替レートを使用しています。世界株式は同様の計算方法により、基準価額算出日前日の指数値と基準価額算出日の為替レートから円換算値を算出し指数化しています。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは6ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## パフォーマンス寄与度（2021年1月～12月）：米国の半導体、リチウム関連銘柄が貢献

- 米国の半導体大手の**ONセミコンダクター**は先進運転支援システムなどの成長で市場予想を上回る業績が続いたこともあり大きく上昇しました。米国のリチウム関連の**アルベマール**は、好調な業績に加え、リチウム価格の上昇が好感されました。米国の半導体大手の**NXPセミコンダクターズ**は、EV向け需要の急拡大、EV向けバッテリー管理システムの力強い成長見込みに加え、半導体の需給ひっ迫を背景に上昇が続き、プラス寄与となりました。
- 一方、フランスの鉄道車両・インフラ大手の**アルストム**は、カナダの同業ボンバルディアの鉄道車両部門買収に伴う費用増が収益、キャッシュフローを圧迫することが嫌気されました。米国のEVメーカーの**ワークホース・グループ**は米国郵政公社の発注を逃したことから下落しました。カナダの燃料電池大手の**バラード・パワー・システムズ**は、脱炭素化の流れで水素関連に注目が集まり、2020年後半に急騰した反動が年間を通じて続き、マイナス寄与となりました。

## パフォーマンス寄与度上位5銘柄（2021年1月～12月）

	企業名	国・地域	業種	平均構成比 (%)	寄与度* (%)
1	ONセミコンダクター	米国	情報技術	4.9	3.8
2	アルベマール	米国	素材	3.7	1.6
3	NXPセミコンダクターズ	米国	情報技術	4.0	1.6
4	シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財・サービス	3.4	1.1
5	ABB	スイス	資本財・サービス	3.0	1.1

\*米ドルベース

## パフォーマンス寄与度下位5銘柄（2021年1月～12月）

	企業名	国・地域	業種	平均構成比 (%)	寄与度* (%)
1	アルストム	フランス	資本財・サービス	2.8	-1.5
2	ワークホース・グループ	米国	一般消費財・サービス	0.4	-1.0
3	バラード・パワー・システムズ	カナダ	資本財・サービス	1.5	-0.7
4	NIO	中国	一般消費財・サービス	0.5	-0.5
5	TDK	日本	情報技術	1.6	-0.5

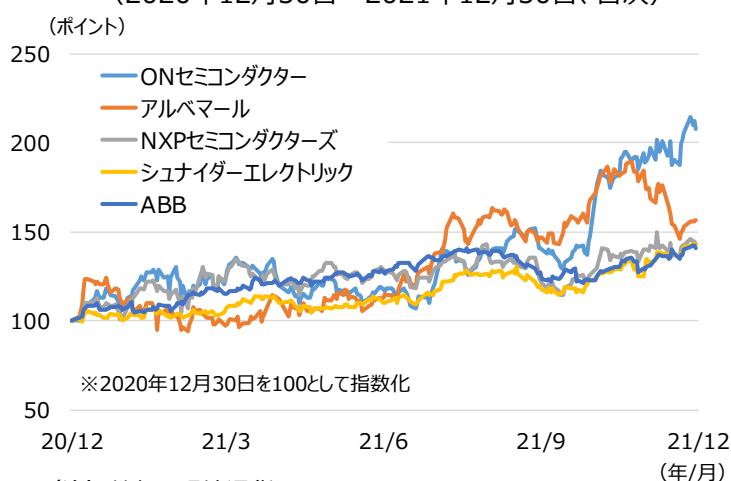
\*米ドルベース

(注1) 業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

(注2) 現金は除く。

## ＜パフォーマンス寄与度上位5銘柄の株価推移＞

(2020年12月30日～2021年12月30日、日次)

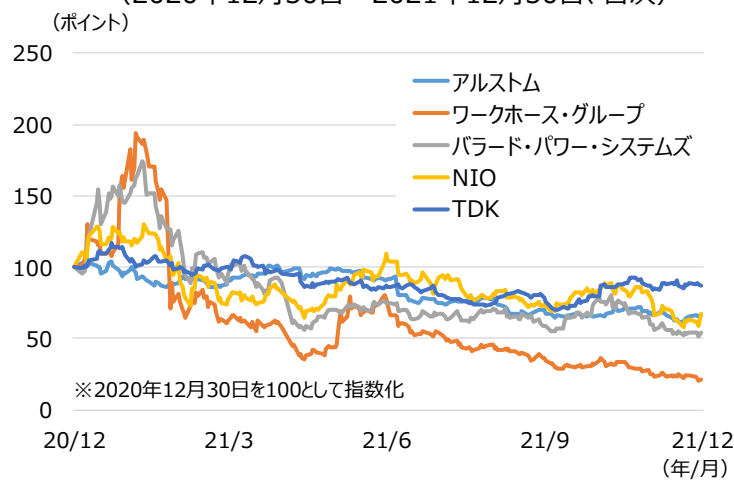


(注) 株価は現地通貨ベース。

(出所) ロベコ・スイス・エージー、Bloombergのデータを基に委託会社作成

## ＜パフォーマンス寄与度下位5銘柄の株価推移＞

(2020年12月30日～2021年12月30日、日次)



※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。  
 ※上記は組入銘柄の例であり、当ファンドにおいて今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

## 基準価額・純資産総額の推移（2018年1月24日（設定日）～2022年1月24日）



(2022年1月24日現在)

税引前分配金  
再投資基準価額  
15,970円

基準価額  
15,066円

純資産総額  
約174億円



(2022年1月24日現在)

税引前分配金  
再投資基準価額  
16,522円

基準価額  
15,554円

純資産総額  
約1,041億円

（注1）基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

（注2）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

## 市場見通しおよび運用方針について

- **新たな変異株「オミクロン型」の感染拡大が懸念される一方、経済の回復は世界的に力強いペースで進んでいます。**一部のサプライチェーンは2022年に入ってもひっ迫した状態が続くと予想され、インフレ圧力は高まっています。FRB（米連邦準備制度理事会）はインフレ圧力の低下に時間がかかることを前提に、テーパリング（量的緩和政策の縮小）を加速させています。一方で、**当ファンドが投資する分野の中長期的な見通しは引き続き良好**です。
- 当ファンドのテーマである**EVのファンダメンタルズは、非常に堅固**なものとなっています。当ファンドでは、EV化やコネクティビティ（ネットワーク接続）、自動運転を可能にするソフトウェア管理ソリューションの開発等を含む、**強固で持続可能な原動力を持つハイテク企業に焦点**を当てるとともに、中国のEV市場や、世界規模でのEVインフラ整備に貢献する企業にも注目していく予定です。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは6ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※ 上記は過去の実績、当資料作成時点の見通しおよび運用方針であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。今後、予告なく変更する場合があります。

## ファンドの特色

- マザーファンドへの投資を通じて、EV（電気自動車）関連企業の株式に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指します。
  - 「グローバルEV関連株マザーファンド」への投資を通じて、EV（電気自動車）の進化や発展に伴い、恩恵を受けられる企業に投資します。
  - 銘柄の選定にあたっては、個々の企業の成長性や株価のバリエーションを考慮します。
  - マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ロベコ・スイス・エージへ委託します。
- 『為替ヘッジあり』と『為替ヘッジなし』の2つのファンドからお選びいただけます。
  - 為替ヘッジあり
 

実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。

※ 一部の通貨について、為替ヘッジが困難等と判断された場合、為替ヘッジを行わないまたは他の通貨で代替した為替取引を行うことがあります。
  - 為替ヘッジなし
 

実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

※ 販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
- 毎年1月、7月の23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として分配を目指します。
  - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
  - 株価変動に伴うリスク、○ 為替リスク、○ カントリーリスク、○ 信用リスク、○ 流動性リスク等があります。

## 分配金に関する留意事項、その他の留意点

## ■ 分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。● 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。● 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## ■ その他の留意点

- 当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。● ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。● 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

## お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

購入単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
購入・換金 申込受付不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ● ニューヨーク証券取引所の休業日 ● 英国証券取引所の休業日 ● ニューヨークの銀行の休業日 ● ロンドンの銀行の休業日
信託期間	2028年1月24日まで（2018年1月24日設定）
決算日	毎年1月、7月の23日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）

## ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### ①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>3.3%（税抜き3.0%）を上限</b> として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
--------	--

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

### ②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に <b>年1.793%（税抜き1.63%）</b> の率を乗じた額
--------------	--

その他の費用・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用</li> <li>● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料</li> <li>● 資産を外国で保管する場合の費用等</li> </ul> ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。
------------	---

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社およびその他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）
投資顧問会社	ロベコ・スイス・エージー（マザーファンドの運用指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用を行います。）

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	備考
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号	○			○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○				
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者 沖縄総合事務局長（金商）第1号	○				
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号	○				
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号	○				
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第6号	○				
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○				
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	※1

※1：金融商品仲介業者経由のみでのお取扱いとなります。

**●モーニングスター アワード「ファンド オブ ザ イヤー 2020」について**

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（グローバル）部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。

**【重要な注意事項】**

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載されている場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

作成基準日：2022年1月24日

